



耻風区 物産展



カヌー体験会

Earth Week Dokkyo 2023 Summer

6/26(Mon)～7/1(Sat)

地球が抱える問題を考えて
行動に移す1週間



省エネ推進会議



ピザ窯で作るピッツァ



公式SNS



主催 経済学部国際環境経済学科・環境共生研究所
運営 Earth Week Dokkyo実行委員会

企画一覧

	6/26(Mon)	6/27(Tue)	6/28(Wed)	6/29(Thu)	6/30(Fri)	7/1(Sat)
～2 限	①風の子マルシェ・物産展	①風の子マルシェ・物産展	①風の子マルシェ・物産展			
昼休み	①風の子マルシェ・物産展 ②創立 50 周年記念館「西棟」 省エネ・創エネ エコキャンパスツアー	①風の子マルシェ・物産展 ④THE Me とお話し会「あなただけじゃないかも!?性とかからのモヤモヤ」	①風の子マルシェ・物産展	⑦フェアトレード商品販売	⑦フェアトレード商品販売 ⑫草加の野菜を食べよう! ～ピザ窯で作るピッツァ～ ※なくなり次第終了 ⑩留学生と交流 「環境問題について」	
3 限	①風の子マルシェ・物産展	①風の子マルシェ・物産展	①風の子マルシェ・物産展	⑧省エネ推進会議 ⑨授業公開「国際関係特 殊講義 a」		
4 限	③Pandemic Accord 2023		⑤フクシマの未来を考える	⑩伝右川カヌー体験会		
5 限			⑥難民の話聴く会			
全期間 実施	【学生センター】⑬Free Book Project Used Book Store 【E 棟一階ラウンジ】：⑦フェアトレードに関する展示 ⑭米山ゼミ、⑮獨協大学 IPJ(イノセンス・プロジェクト・ジャパン)学生ボランティア、⑯セガフ応援隊 ⑰ほんそんみらいプロジェクト、⑱こまち『大地の泉』つながるプロジェクト、⑲獨協大学「外国語教育、環境教育を活用した『持続可能なまちづくり』創造事業」					

No	団体名	場所	内容
①	大竹ゼミ駐風班 「風の子×ORADO」	アリーナ前 ※販売時間 11:00～14:00	大竹ゼミ駐風班は、地域活性化のため福島県南会津町駐風地区と秋田県藤里町粕毛地区を中心に活動を行なっています。これらの学生の活動の拠点となるような地域づくりを目標として、様々な活動に取り組んでいます。今回のイベントでは、地域活性化事業として福島県南会津町駐風地区と秋田県藤里町粕毛地区の特産品を販売します。地区の農家の方々が実際に育てたそば粉や山菜、地酒など様々な地域の味覚を取り扱っています。またゼミ生が付加価値を加えた駐風産の木皿、そば粉を材料としたクッキー販売もしています！
②	米山ゼミ地球温暖化防止プロジェクト 施設事業課	集合場所 W 棟 1F 守衛室の前	2017 年に完成した創立 50 周年記念館「西棟」には、最新の省エネ・創エネ設備が導入されています。普段は入れない屋上や身近にある省エネ・創エネの工夫を見て、自然エネルギーの力を体感しよう。 ※定員 10 名ほど。集合時間 12:45
③	Pandemic Accord 2023	4-405 教室(模擬法廷教室)	法学部鈴木淳一ゼミナール(国際法)では、パンデミック条約制定の模擬会議を行っています。今回は、人工知能を活用した WHO 総会のシミュレーションを行います。現在の世界情勢では、COVID-19 パンデミックを経験したことで、次のパンデミックに備える条約体制の構築が求められています。そこで、本企画では WHO 総会を想定して、人工知能によってアシストされた学生たちが国際会議のシミュレーションを行います。第一段階として、今回は、各国の状況について分析し発表します。
④	THE Me	W-304 教室 ※申し込み有	THE Me は、「自分らしさ」について性の視点から考える、獨協生中心の学生団体です。ジェンダーやセクシュアリティに関するオンラインでのお話し会や対面交流会をメインに活動しています。今回は、「あなただけじゃないかも!?性とかからのモヤモヤ」というテーマでディスカッションを行います。体臭や体形など多くの人が悩みがちなカラダのことを考えています。 
⑤	米山ゼミ「地域活性化プロジェクト」	天野貞祐記念館大講堂	「フクシマの未来を考える」では震災と津波、原発事故に見舞われた福島県の復興を支援するということにとどまらず、福島県の抱える問題を日本社会が近い将来に直面する問題として、他の地域に先立って解決していかなければならない日本社会のフロンティアという意味を込めて「フクシマ」と表記し、日本社会、そして世界の未来を俯瞰しようとするイベントです。
⑥	BOND 獨協支部・PIR	天野貞祐記念館大講堂 (ZOOM 併用) ※申し込み有	日本の難民受け入れの現状や外国人差別・人権侵害の現状を知るとともに、難民でありながら当事者のお話を聞き、より良い社会にするために私たち学生に何が出来るのか、一緒に考えましょう。BOND は、日本に暮らす外国人労働者や難民のための支援活動を関東規模で行うボランティア団体の獨協大学支部です。PIR は、難民とともに歩み、すべての人が生きやすいコミュニティをつくるをモットーに日本に住む難民の方々の支援を行っています！ 
⑦	学生会委員会 LANKA	販売：学生センター 1F 展示：E 棟ラウンジ	フェアトレードに関する情報をまとめた展示物を学生センターに掲示します！ 加えて、カルディのフェアトレードのチョコレートを 2 日間の昼休みにわたって販売します！
⑧	米山ゼミ「地球温暖化防止プロジェクト」チーム& 施設事業課&石本建築事務所&ヴェオリア・ジェ ネット株式会社	雄飛ホール	施設事業課、石本建築事務所、ヴェオリア・ジェネット株式会社と毎月実施している省エネ推進会議を公開します！ 米山ゼミ地球温暖化防止プロジェクトメンバーの他、ライトダウン実行委員会、Earth Week Dokkyo 実行委員会、一般学生が集まり、キャンパスの省エネについてディスカッションをします。省エネに関心のある学生は、ぜひご参加ください！
⑨	外国語学部英語学科准教授 佐野康子	E-202 教室	英語学科「国際関係特殊講義 a」の授業を公開します！私たちの日常生活に欠かせないのがスマートフォンです。スマートフォンなどの小型電子機器には、さまざまな鉱物資源が用いられている。これら鉱物資源の採掘の現場では、人権侵害、環境破壊、利権をめぐる争いなどが生じています。今回の講義では、サブサハラ・アフリカに位置する資源大国であるコンゴ民主共和国を例に、鉱物資源の採掘に伴うさまざまな問題について考える機会を提供します。
⑩	米山ゼミ「伝右川再生に向けた支援プロジェクト」	大学正門前船着場	正門前船着場より、木製カヌーで伝右川を 20 分程度周遊し、川環境を身近に体感してもらうことができます！私たちは、大学前を流れる伝右川を地域住民が自然と触れ合う憩いの場とするを目標に、カヌー体験会、カヌーを用いた浮遊ゴミの回収作業、水質調査や生物調査等、水質改善のための活動を幅広く行っています！
⑪	米山ゼミ「食と農を考えようプロジェクト」・大竹ゼミ	中央棟前中庭	米山ゼミ「食と農を考えようプロジェクト」は、食と農業を通じて持続可能な社会をつくること目標として日々活動しているプロジェクトです。大竹ゼミは、持続可能な環境や産業の在り方を考えることを目標に活動を行っています。このイベントでは、地元の新鮮な野菜の美味しさを知り、草加の野菜に関心を持ってもらい地産地消を推進することを目的とし、学生に地元産の旬の野菜を使用したピザを無償で提供します。
⑫	Earth Week Dokkyo 実行委員会	ICZ 内の教室	近年、地球温暖化による気候変動が深刻な問題となっています。突然のゲリラ豪雨や破壊的な台風、夏の異常気象などといった気候の変化は、近年多くの学生が実感しているのではないのでしょうか？2015 年に採択されたパリ協定では、すべての参加国で温室効果ガスの削減に取り組むことが約束され「世界的な平均気温の上昇を産業革命以前に比べて 2℃より低くすること」「1.5℃に押さえる努力を追求すること」が世界共通の目標となりました。このイベントでは、獨協大学に通う留学生と共に、環境問題に関してディスカッションを行います！旧温暖化への取り組みについて一緒に学んでいきましょう！
⑬	Free Book Project	学生センター	今回のイベントでは、大学に無料で本を貰える場所を作ります。家にある読まなくなった本をぜひ持ってきてください！Free book として集めた本を無料で読みたい人に手に取ってもらいその本に新しい story を作りましょう！和書・洋書・絵本・児童図書・雑誌・漫画なんでも歓迎です。(状態が比較的良好のものに限ります)
⑭	米山ゼミ	E 棟ラウンジ	ゼミのプロジェクトに関する成果を作成し展示します。これまで行ってきた活動内容、活動の意義や今後の展望などを盛り込んでいます。プロジェクト活動は、ゼミ生に限らず広く全学に開かれていますので、興味のある方はご参加ください。
⑮	獨協大学 IPJ(イノセンス・プロジェクト・ジャパン) 学生ボランティア	E 棟ラウンジ	私たちは資料展示を行い、人質司法や拘留所についてもっと理解を深めてほしいと考えています。身近な問題ではないと考えがちなの司法の問題や施設について興味を持ち、問題性の認識を広めることを目的としています。
⑯	セガフ応援隊		本学の「大学生事業」では、「セガフ応援隊」が田村市船引町瀬川地区に、「こまち『大地の泉』つながるプロジェクト」は小野町谷津作行政区、そして大学生事業を卒業となった「ほんそんみらいプロジェクト」は、喜多市高郷町本村地区に入っており、それぞれ地域の課題解決に向けて地域に住民と協働しています。
⑰	こまち『大地の泉』つながるプロジェクト		また、本学の「復興知事業」は、2021 年度から 2025 年度までの 5 年間、本学と田村市をはじめとした福島県の浜通り市町村等との間で継続的な関係を構築し、「外国語教育」「環境教育」「地域づくり」事業を展開しています！
⑱	ほんそんみらいプロジェクト	E 棟ラウンジ	
⑲	獨協大学「外国語教育、環境教育を活用した 『持続可能なまちづくり』創造事業」		今回は、各プロジェクトの活動に関するポスターを展示します。地域活性化に関心のある学生は必見です！！